



Topics

タイトル

令和3年度 林業成長産業化構想技術者育成研修が開催されました！

コメント

令和3年10月19日～22日の4日間にわたり、林野庁が実施する林業成長産業化構想技術者育成ブロック研修が人吉市で開催されました。(研修受託者:全国林業改良普及協会)

県・市町村・民間事業体及び森林管理局の若手職員等を対象に、地域の森林をICT等の先端技術により分析・評価し、木材生産の具体的戦略を描くとともに、関係者との合意形成を図るために必要な知識・技術を習得して頂くための演習・現地実習を中心とした研修です。

森づくり構想演習

その地域の森林・林況について科学的に分析・評価する能力を習得するための演習です。

循環的な木材生産の構想を描く

約1,000haの森林を対象に、GISや路網設計支援ソフトを活用して、循環的な木材生産の構想を描く能力を習得するための演習です。



場 所 : 人吉市

日 時 : 令和3年10月19～22日





Topics

コメント

専用ソフトを活用

地形や傾斜区分、路網整備に伴う伐採可能量等を考慮しながら、路網設計支援ソフトを活用して演習地の最適線形を検討しました。

路網設計支援ソフト等によって設計した路網計画が、市町村森林整備計画や林業成長産業化を目指す上で、施策上のゾーニングや作業システム、更新方法との整合性がとれているか等、計画的な路網整備を行うための視点を養います。



路網設計支援ソフトの演習



机上演習の様子

林業専用道の新設路線の配置や、年次別の伐採計画、木材生産の収支等について、各班でディスカッションしながらプレゼンテーション資料を作成しました。

構想の実現に向けた開発方法と、地域利害関係者との合意形成に必要なプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を図ります。



各班発表の様子

この研修を通じて、林業ICT化の意義と、地域特性に応じた多様な森づくり、林業の成長産業化に向けた各種の方法を習得していただきました。

